

## 1) 背景と目的(報告書の序文から一部抜粋):

九州大学マス・フォア・インダストリ研究所(略称:IMI)は、このような日本および国際社会からの要請に応えるため、多様な数学研究を基礎におくアジア初の産業数学の研究所として、平成23年4月1日に創設された。さらに平成25年4月1日、IMIは文部科学大臣から文部科学省共同利用・共同研究拠点「産業数学の先進的・基礎的共同研究拠点」に認定された。

本報告書ではIMIが設立当初(平成23年)から今日(令和5年10月1日)まで携わった活動を総括し、IMIが成した事、今後の持続的発展に必要なものを明らかにする。

## 2) 評価プロセス概要:

報告書	「令和5年度 自己点検・評価報告書」
評価依頼対象者	共同拠点委員(外部委員13名)、IMI International Advisory Board Members(9名)
評価依頼日	2024/1/23
回答期限	2024/3/24
回答人数	22人中11名(回答率50%)

## 外部評価を依頼した委員の内訳

外部評価を依頼した委員		依頼人数	回答数	回答率
共同拠点委員	学外委員	13	6	46%
IAB		9	5	56%
合計		22	11	50%

## 3) 評価結果

評価	I. 共同利用・共同研究拠点事業(参考:5章、6.10節)	II. IMI主催イベント(参考:6.3, 6.4, 6.17節)	III. 外部資金・知的財産(参考:6.7, 6.8, 6.9節)	IV. 研究成果発表(参考:6.11, 6.12, 6.13, 6.19節)	V. 教育関連(参考:6.2, 6.14, 6.15, 6.16, 6.18節, 10章)	VI. 国際活動に関連する事業(参考:6.5節, 8章, 9章)	VII. その他の活動(今後のIMI発展につながるものを含む)(参考:7章, 11章)	VIII. 総合評価九州大学マス・フォア・インダストリ研究所のこれまでの取組	割合
a. 優れている	10	7	2	8	7	4	7	11	64%
b. 妥当である	1	4	9	3	4	6	4		35%
c. やや不十分である						1			1%
d. 不十分である									0%
合計	11	11	11	11	11	11	11	11	100%

以上